

根室・釧路の経済概況（26年6月まで）

NO.1（平成26年8月21日）
大地みらい信用金庫 地域みらい創造センター

根室管内							釧路地区												
水	◎管内の水揚数量合計は前年比 2.6%増加、金額は同 14.2%増加。 ①根室管内総水揚高(各年1~6月)						◎釧路港の水揚は、数量が前年比大きく減少したものの、平均価格はアップし金額はほぼ前年実績並み。 ①釧路港総水揚高(各年1~6月)												
	根室市		根室管内3町		根室管内合計		全体			うち、スケソ									
		数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減	単価(円/kg)					
	H 26	23,646	8,069	37,078	7,613	60,725	+2.6%	15,682	+14.2%	H 26	29,605	▲28.5%	2,921	+0.6%	22,609	▲31.7%	1,569	▲10.7%	69
	H 25	22,946	6,350	36,247	7,379	59,194	+1.7%	13,730	▲5.6%	H 25	41,390	+18.7%	2,903	▲7.0%	33,103	+33.5%	1,758	+14.7%	53
	H 24	25,406	8,080	32,784	6,469	58,191	▲0.4%	14,550	▲6.0%	H 24	34,857	▲1.1%	3,123	▲2.8%	24,789	▲11.2%	1,532	+16.6%	62
H 23	24,101	8,355	34,348	7,126	58,449	▲23.7%	15,481	▲6.2%	H 23	35,237	+5.5%	3,211	▲24.2%	27,921	+9.0%	1,314	▲42.8%	47	
H 22	27,486	9,332	49,087	7,166	76,574	▲6.2%	16,499	+3.3%	H 22	33,387	▲15.5%	4,238	▲16.3%	25,624	+53.9%	2,296	+56.2%	90	
産	②サケ・マス漁 ・日本200カイリ内は再び漁獲割当制に戻る。好漁でカラフトマスは近年にない高値推移。ロシア200カイリ内は早期交渉妥結し漁獲も順調に推移。価格はベニサケが前年より安値推移。						③貝殻島周辺サオマエコンブ漁 ・期間6月15日~7月12日・沖出 8回・総採取時間 34時間(昨年9回・37.5時間)。 ・7/16値決め結果(1等品・10kg当り・17,300円)(前年比 2.3%増)・値決め上場数量 52.0トン。												
	④ホタテ漁(野付・標津 各年1~6月)						②釧路港魚種・漁法別水揚(H26年1~6月)						③厚岸港水揚高(各年1~6月)						
		数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減	単価(円/kg)	主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減	H 26	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減			
	H 26	25,147	+10.0%	4,930	+4.9%	196	サケ・マス	68	+58.1%	44	2.1倍	H 26	2,969	+15.8%	1,581	+16.5%			
	H 25	22,866	+24.0%	4,701	+22.8%	206	スケソ	22,609	▲31.7%	1,569	▲10.7%	H 25	2,565	▲19.4%	1,356	▲10.5%			
	H 24	18,434	+2.6%	3,829	▲14.9%	208	マダラ	3,490	▲21.4%	704	+24.7%	マダラ	3,490	▲21.4%	704	+24.7%			
◎根室管内の4~6月生乳生産量は、前年比 4.7%減少。全道生産量は同 3.1%減少。 ○管内生乳生産量(各年4~6月)						◎釧路港水揚げ ・今年1~6月の水揚は、数量が29ktで過去5ヶ年でみると最低、金額は29億円で過去5ヶ年でみると前年に次ぐ低さ。 ・魚種別でみると、主力のスケソは数量22ktで前年比 31.7%減少し、過去5ヶ年で最低。平均単価は前年比 30.2%アップし、水揚金額は同10.7%減少。マダラは数量で前年比21.4%減少したものの、魚価高で水揚金額は同 24.7%増加。						◎厚岸港水揚げ ・今年1~6月の水揚高は、数量 2,969tで前年比 15.8%増加、金額は 1,581百万円で同 16.5%増加。 ・カキは年明けまでの成長不良が改善し順調な水揚となり、数量は前年比増加、金額は同減少。アサリは大震災で破壊された漁場が年々回復し、資源も回復し、今期数量、金額ともに前年比増加。春サケ定置は不振。							
酪	乳量(t)		前年比		○生乳生産(26年4~6月)		○今後の需給動向 ・根室、釧路管内の生乳生産は、26年度に入っても依然減産傾向が続いている。離農等による全体資源の減少に加え、天候不順による生産環境の悪化、飼料価格の高騰による 給餌量の抑制等が要因。 ・今後も大きく改善する要因なく引き続き減産傾向は続く見通し。												
	H 26	197,788	▲4.7%	・根室、釧路管内の生乳生産は、前年7月から減産に転じ、今期も回復せず前年比 4.7%の減少。道内各地もほぼ同様に前年実績を下回っている。 ・根室管内乳代は4~6月実績91.36円/k(前年86.02円/kg)。釧路管内乳代は4~6月実績89.21円/kg(前年83.90円/kg)。															
	H 25	207,527	+0.8%	○今度の需給動向															
	H 24	205,839	+1.6%	・根室、釧路管内の生乳生産は、26年度に入っても依然減産傾向が続いている。離農等による全体資源の減少に加え、天候不順による生産環境の悪化、飼料価格の高騰による 給餌量の抑制等が要因。 ・今後も大きく改善する要因なく引き続き減産傾向は続く見通し。															
	H 23	202,627	▲1.8%	○今後の需給動向															
	○26年根室管内月別伸び率(前年同月比・%)		1月 ▲4.7%		2月 ▲5.6%		3月 ▲5.7%		4月 ▲6.1%		5月 ▲4.5%		6月 ▲3.6%						
農	乳量(t)		前年比		○製紙 ・釧路2工場の26年度第1四半期生産量は179ktで前年同期比1.5%の減少。 ・釧路2工場の生産内訳をみると、新聞用紙は78ktで前年同期比4.6%減少、印刷用紙は7ktで同11.3%増加、段ボールは80ktで同0.8%減少、産業用紙は13ktで同8.9%増加。 ・釧路工場は計画通りまぼフル稼働の状況。昨年から本格操業となった産業用紙は今年度さらに生産増大の計画。新聞用紙は計画を前年実績より低く設定し、まぼ計画通り。段ボール用紙は計画通りでほぼ前年実績並み。 ・2工場ともに発電事業は順調に稼働し電力会社への売電が行われている。														
	全道	952,445	▲3.1%	○製紙 ・釧路2工場の26年度第1四半期生産量は179ktで前年同期比1.5%の減少。 ・釧路2工場の生産内訳をみると、新聞用紙は78ktで前年同期比4.6%減少、印刷用紙は7ktで同11.3%増加、段ボールは80ktで同0.8%減少、産業用紙は13ktで同8.9%増加。 ・釧路工場は計画通りまぼフル稼働の状況。昨年から本格操業となった産業用紙は今年度さらに生産増大の計画。新聞用紙は計画を前年実績より低く設定し、まぼ計画通り。段ボール用紙は計画通りでほぼ前年実績並み。 ・2工場ともに発電事業は順調に稼働し電力会社への売電が行われている。															
	釧路	133,101	▲4.9%	○製紙 ・釧路2工場の26年度第1四半期生産量は179ktで前年同期比1.5%の減少。 ・釧路2工場の生産内訳をみると、新聞用紙は78ktで前年同期比4.6%減少、印刷用紙は7ktで同11.3%増加、段ボールは80ktで同0.8%減少、産業用紙は13ktで同8.9%増加。 ・釧路工場は計画通りまぼフル稼働の状況。昨年から本格操業となった産業用紙は今年度さらに生産増大の計画。新聞用紙は計画を前年実績より低く設定し、まぼ計画通り。段ボール用紙は計画通りでほぼ前年実績並み。 ・2工場ともに発電事業は順調に稼働し電力会社への売電が行われている。															
	十勝	275,960	▲1.3%	○製紙 ・釧路2工場の26年度第1四半期生産量は179ktで前年同期比1.5%の減少。 ・釧路2工場の生産内訳をみると、新聞用紙は78ktで前年同期比4.6%減少、印刷用紙は7ktで同11.3%増加、段ボールは80ktで同0.8%減少、産業用紙は13ktで同8.9%増加。 ・釧路工場は計画通りまぼフル稼働の状況。昨年から本格操業となった産業用紙は今年度さらに生産増大の計画。新聞用紙は計画を前年実績より低く設定し、まぼ計画通り。段ボール用紙は計画通りでほぼ前年実績並み。 ・2工場ともに発電事業は順調に稼働し電力会社への売電が行われている。															
家畜取引	◎26年度4~6月の根室、釧路市場は、全体の資源不足から初生ホル、F1、廃用牛いずれも高値推移。 ○根室市場取引高(各年4月~6月)						○別海市場取引高(各年4月~6月)												
		取引頭数(頭)	前年比	金額(百万円)	前年比	単価(千円)		取引頭数(頭)	金額(百万円)	前年比	単価(千円)								
	H 26	10,595	▲3.9%	2,033	+11.2%	192	H 26	2,592	382										
	H 25	11,028	+2.2%	1,829	+16.4%	166	H 25	3,033	422										
H 24	10,789	▲0.7%	1,571	▲16.9%	146	前年比	▲14.5%	▲9.5%											
○種類別価格(根室市場)		H26年/1月		2月	3月	4月	5月	6月	○観光 ・平成26年4~6月スポット別の観光客入込み数 ・平成26年度(平成26年4月~6月)観光客入込み総数 257千人(前年比+0.9%)。航空での入込みは、道外から釧路への降客が55千人で前年同期比 1.8%減少。国際定期便は 1.8千人で前年同期比16.7%減少。 ・主な観光スポットでの入込み数をみると、阿寒湖遊覧船 31千人(同+20.8%)。丹頂鶴自然公園 13千人(同+10.6%)。湿原展望台 13千人(同▲10.6%)。MOO 141千人(同▲1.1%)。										
初生ホルスタイン社(単位:千円)		43.1		46.0	54.8	56.3	49.7	56.7	○輸出は前年比増加、輸入は同減少。(26年1~6月・釧路税関支署発表貿易実績・()内前年同期比)										
肉牛ホルスタイン経産牛(単位:千円)		129.0		133.7	141.8	143.5	172.9	182.8	【総額】 426億39百万円(▲10.3%) 釧路港外国貿易船入港数158隻(+16.2%)。【輸出】 37億68百万円(+2.3%) 魚介類は前年比金額減少したものの、紙類・同製品、鉄スクラップは同比金額は増加。【輸入】 388億71百万円(▲11.3%) 魚介類、化学肥料用原料は数量・金額ともに前年比減少。飼料用原料、石炭、ウッドチップは数量・金額ともに前年比増加。										
貿易	◎輸出は前年比減少。輸入は同増加。(26年1~6月貿易実績・根室税関支所発表・()内前年同期比)						◎輸出は前年比増加、輸入は同減少。(26年1~6月・釧路税関支署発表貿易実績・()内前年同期比)												
	【総額】 2,934百万円(+7.5%) 外国貿易船の入港隻数 217隻(前年比▲6.9%) 【輸出】 63百万円(▲17.6%) 冷凍魚介類(34百万円、3.1倍)、輸送用機器(16百万円、▲43.7%) 【輸入】 2,870百万円(+8.2%) 生鮮魚介類(2,804百万円、+8.0%)、冷凍魚介類(全減) ・輸出・・・冷凍魚介類は前年比増加したが、一般機械、輸送用機器は同減少し、全体では同減少。 ・輸入・・・輸入総額の97.7%を占める生鮮魚介類は前年比8.0%増加、生鮮魚介類のほとんどを占める活ウニは同1.7%増加。						【総額】 426億39百万円(▲10.3%) 釧路港外国貿易船入港数158隻(+16.2%)。【輸出】 37億68百万円(+2.3%) 魚介類は前年比金額減少したものの、紙類・同製品、鉄スクラップは同比金額は増加。【輸入】 388億71百万円(▲11.3%) 魚介類、化学肥料用原料は数量・金額ともに前年比減少。飼料用原料、石炭、ウッドチップは数量・金額ともに前年比増加。												

根室・釧路の経済概況（26年6月まで）

NO.2（平成26年8月21日）

大地みらい信用金庫 地域みらい創造センター

	全 国				全 道				根 室				釧 路			
住宅着工戸数	◎平成26年4～6月は、218千戸で前年比9.3%減少。月別で見ると今年3月から前年実績を下回り、減速傾向。				◎平成26年4～6月は、8千戸で前年比8.9%の減少。月別で見ると、今年1月から6ヶ月連続で前年同月比減少。				◎平成26年4～6月は、前年比41.4%で12戸の減少。				◎平成26年4～6月は、216戸で前年比15.6%減少。持家、貸家ともに前年比減少。			
	○着工戸数(戸) 前年比				○着工戸数(戸) 前年比				○根室市住宅着工戸数				○釧路市住宅着工戸数			
	26年4～6月計 218,834 ▲9.3%				26年4～6月計 8,915 ▲8.9%				26年4～6月計 17 ▲12 ▲41.4%				26年4～6月計 216 ▲40 ▲15.6%			
	(内訳) 持家 ▲19.3% 貸家 +5.5%				(内訳) 持家 ▲23.0% 貸家 +1.5%				26年 6月 12 +8 3.0倍				26年 6月 54 ▲35 ▲39.3%			
	給与 +49.8% 分譲 ▲16.0%				給与 +14.1% 分譲 ▲3.2%				" 5月 3 ▲17 ▲85.0%				" 5月 54 ▲13 ▲19.4%			
	(月別)				(月別)				" 4月 2 ▲3 ▲60.0%				" 4月 108 +8 +8.0%			
	26年 6月 75,757 ▲9.5%				26年 6月 3,120 ▲12.5%				" 3月 16 +14 8.0倍				" 3月 39 +3 +8.3%			
	" 5月 67,791 ▲15.0%				" 5月 2,559 ▲11.1%				" 2月 6 +6 全増				" 2月 53 +24 +82.8%			
	" 4月 75,286 ▲3.3%				" 4月 3,236 ▲3.3%				(年別・利用別) 持家 貸家 給与 分譲 合計 前年比				(年別・利用別) 持家 貸家 給与 分譲 合計 前年比			
	" 3月 69,411 ▲2.9%				" 3月 2,421 ▲4.5%				26年 4～6月 5 12 0 0 17 ▲41.4%				26年 4～6月 88 107 2 19 216 ▲15.6%			
" 2月 69,689 +1.0%				" 2月 1,322 ▲11.6%				25年 4～6月 12 17 0 0 29 2.1倍				25年 4～6月 131 115 1 9 256 +38.4%				
" 1月 77,843 +12.3%				" 1月 1,266 ▲10.0%				24年 4～6月 12 2 0 0 14 ▲71.4%				24年 4～6月 114 60 0 11 185 +42.3%				
公共工事請負高	◎月別にみる工事請負契約額は、月別では25年2月から連続で前年同月比増加が続く。				◎26年度第1四半期は、全体で4,498億円で前年比23.1%増加。発注機関別では、国が前年比減少したものの、道、道内市町村等は前年実績を上回る。				◎26年度第1四半期は、74億円で前年比20.7%減少。工事種類別で見ると、主要となる一般土木は前年比36.2%減少。一方、建築工事は同2.4倍。				◎26年度第1四半期は、291億円で前年比31.2%の増加。工事種類別で見ると、一般土木、舗装工事は前年比減少。建築、電気、管工事は大幅増加。			
	○月別 工事請負契約額(億円) 前年比				○年別 前払保証請負額(百万円) 前年比				○年別 前払保証請負額(百万円) 前年比				○年別 前払保証請負額(百万円) 前年比			
	26年 6月 16,182 +10.6%				26年4～6月 449,858 +23.1%				26年4～6月 7,451 ▲20.7%				26年4～6月 29,109 +31.2%			
	" 5月 10,203 +5.4%				25年4～6月 365,443 +18.2%				25年4～6月 9,401 +12.8%				25年4～6月 22,190 +22.2%			
	" 4月 13,563 2.1倍				24年4～6月 309,225 +13.6%				24年4～6月 8,332 +38.2%				24年4～6月 18,153 +19.3%			
	" 3月 22,944 +23.5%				【発注機関別】(H26年4月～6月)				【工事種類別】(H26年4月～6月)				【工事種類別】(H26年4月～6月)			
	" 2月 10,912 +3.5%				国 141,282 ▲3.2%				一般土木 4,390 ▲36.2%				一般土木 7,613 ▲42.5%			
	" 1月 7,917 +11.2%				道 85,015 +31.8%				舗 装 129 ▲21.8%				舗 装 1,694 ▲26.4%			
	○年別				道内市町村 158,777 +37.2%				建 築 1,290 2.4倍				建 築 14,919 5.2倍			
	26年4～6月 39,948 +30.2%				独立行政法人等 31,912 +40.8%				電 気 444 ▲2.6%				電 気 2,247 2.8倍			
25年4～6月 30,689 +44.7%				地方公社 888 3.1倍				管 209 4.3倍				管 1,002 3.2倍				
※推定方法の変更により24年より新データで公表																
企業倒産動向	◎半期でみる倒産件数は、21年下期から10期連続で前年同期の実績を下回る。				◎上期の道内倒産件数は、152件で前年比15.1%減少、2年連続で前年実績を下回る。				◎上期の根室管内は、件数なし。				◎上期の倒産件数は、釧路市が4件で他市町村はなく管内計4件。			
	○年半期毎推移 (金額単位:億円)				○年別 (金額単位:億円)				○年別 【根室管内】 【うち、根室市】				○年別 【釧路管内】 【うち、釧路市】			
	件数(件) 前年比 負債額 前年比				(各年1～6月) 件数(件) 前年比 負債額 前年比				(各年1月～6月) 件数 負債額(百万円) 件数 負債額(百万円)				(各年1月～6月) 件数 負債額(百万円) 件数 負債額(百万円)			
	26年 上期 4,756 ▲10.4% 10,638 ▲39.7%				26年 152 ▲15.1% 291 ▲94.8%				26年 0 0 0 0				26年 4 185 4 185			
	25年 下期 5,022 ▲6.5% 9,944 ▲44.0%				25年 179 ▲13.2% 5,573 12.6倍				25年 3 4,106 3 4,106				25年 12 2,634 10 2,582			
	25年 上期 5,310 ▲7.8% 17,631 ▲11.8%				24年 205 +9.0% 443 ▲17.5%				24年 1 100 1 100				24年 14 5,785 12 4,461			
	24年 下期 5,369 ▲2.8% 17,759 ▲3.4%				23年 188 +12.6% 537 ▲1.6%				23年 4 274 1 74				23年 6 2,332 5 2,229			
	24年 上期 5,760 ▲1.5% 19,982 +23.0%				22年 167 ▲24.8% 546 ▲68.2%				22年 5 307 2 161				22年 7 2,664 6 2,598			
	◎全国延べ旅行者数は、5・四半期連続で前年同期比増加。25年度は前年度並みの2.3%増加。				◎全道延べ旅行者数は、23、24年度と前年実績を割り込み、25年度は四半期別にみても減少傾向。				◎25年度の根室管内観光客入込数は、7-9期から3・四半期連続で前年同期実績を下回り、年度全体で前年比2.5%の減少。				◎25年度の釧路管内観光客入込数は、前年度から引き続き、各四半期とも前年同期実績を上回り、年度全体で3.9%の増加。			
	○四半期別 延旅行者数(千人) 前年同期比				○四半期別 延旅行者数(千人) 前年同期比				○四半期別 観光入込客数(千人) 前年同期比				○四半期別 観光入込客数(千人) 前年同期比			
26年 1-3月 87,553 +2.4%				26年 1-3月 — —				26年 1-3月 172 ▲6.3%				26年 1-3月 1,105 +1.9%				
25年 10-12月 88,569 +3.3%				25年 10-12月 3,325 ▲3.5%				25年 10-12月 245 ▲2.7%				25年 10-12月 1,246 +4.4%				
25年 7-9月 110,382 +1.2%				25年 7-9月 6,255 ▲1.9%				25年 7-9月 1,126 ▲4.5%				25年 7-9月 2,414 +5.5%				
25年 4-6月 98,271 +2.5%				25年 4-6月 4,602 +2.8%				25年 4-6月 330 +7.1%				25年 4-6月 1,419 +2.4%				
○年度別(前年同期比)				○年度別(前年同期比)				○年度別(前年同期比)				○年度別(前年同期比)				
25年度 384,775 +2.3%				25年度 — —				25年度 1,874 ▲2.5%				25年度 6,185 +3.9%				
24年度 376,139 +2.4%				24年度 17,166 ▲11.7%				24年度 1,923 +6.9%				24年度 5,952 +9.9%				
23年度 367,231 +0.1%				23年度 19,447 ▲2.3%				23年度 1,799 ▲6.6%				23年度 5,416 ▲5.4%				